

短 報

## 「岡山県自然保護センターの蘚類」への追補

岡山県自然保護センター 地職 恵\*  
岡山理科大学自然植物園蒜山分室 西村 直樹

### ADDITIONS TO “MOSSES IN THE OKAYAMA PREFECTURAL NATURE CONSERVATION CENTER”

Megumi CHISHIKI, *Okayama Prefectural Nature Conservation Center*  
and

Naoki NISHIMURA, *Hiruzen Branch, Botanical Garden, Okayama University of Science*

#### ABSTRACT

The list of existing mosses in the Okayama Prefectural Nature Conservation Center has been revised in this paper. After comparing 302 specimens collected between 1999 and 2003 at the grounds of the Center with the list compiled in 1996, 41 new moss species were added to the list, and four species were excluded from the list.

キーワード：岡山県自然保護センター，蘚類，フロラ。

#### はじめに

岡山県自然保護センターのコケ植物（蘚類）は、「岡山県自然保護センター生物相調査」の一環として1993年4月から1995年3月にかけて調査が行なわれた。その結果は岡山県自然保護センター研究報告の生物相調査報告書（井木ほか，1996）にとりまとめられている。

その後1999年から2003年にかけて，センター内のコケ植物の生育を確認するため標本を採集し，同定するとともに既報の材料となった標本についても検討した。その結果，新たに追加すべき種と削除すべき種を認めたので報告する。

#### 調査地の概要

自然保護センターは岡山県の中部東よりに位置する。約100haの敷地は1つの集水域からなるすり

鉢状の地形で，中心には約8haの大きな灌漑用の池がある。花崗岩を母岩とする（光野，1990）地質は全般的に未熟な土壌（波田ほか，1996）で，アカマツ林にコナラが混生する二次林となっている。尾根には巨岩が点在しており，谷は転石で埋まり，伏流水となった水は地下にしみ込み流水のある谷はない。標高は200-300mで気候は年平均気温が13.4℃，年降水量は1,220mm（岡山県自然保護センター，1994）で，温暖で乾燥した瀬戸内海気候区に属する。

#### 結果と考察

1999年から2003年にかけて，著者の一人，地職が採集したセンター内の蘚類302点について顕鏡した結果，新たに23属41種を見いだした。この結果，ミズゴケ科，キセルゴケ科，ヒョウタンゴケ科，ハリガネゴケ科，イトヒバゴケ科，オオトラノオゴケ科の6科が追加された。また既報（井木ほか，1996）の標本について検討した結果，同定間違い

\*連絡先：fvbs5493@mb.infoweb.ne.jp

と判定した1属4種を削除した。井木らにより24科、46属、61種が報告されていることから、自然保護センターの蘚類は、30科、68属、98種が確認できたことになる(表1)。

今回の調査によって見いだされたオオミズゴケは環境庁のレッドデータブック(環境庁, 2000)

によると、絶滅危惧I類に指定されており、岡山県版レッドデータブック(岡山県生活環境部自然環境課, 2003)でも絶滅危惧種に指定されている。センターの湿原を造成した時に移入されたものであるが、湿原の周辺部やイヌツゲなどの根元にこんもりとした群落をつくっており、湿原の構成種

表1. 岡山県自然保護センターの蘚類の科属別総種数 (\*\*: 追加の科, \*: 追加の属).

科名	属名	種数
** Sphagnaceae	* <i>Sphagnum</i>	1
** Buxbaumiaceae	* <i>Diphyscium</i>	1
Polytrichaceae	* <i>Atrichum</i>	1
	<i>Pogonatum</i>	2
Fissidentaceae	<i>Fissidens</i>	3
Ditrichaceae	<i>Ceratodon</i>	1
	<i>Ditrichum</i>	2
	<i>Pleuroidium</i>	1
Dicranaceae	* <i>Campylopus</i>	1
	<i>Dicranum</i>	2
	<i>Oncophorus</i>	1
	<i>Trematodon</i>	1
Leucobryaceae	<i>Leucobryum</i>	1
Pottiaceae	* <i>Barbula</i>	1
	* <i>Hyophila</i>	1
	<i>Weissia</i>	4
	* <i>Weisiopsis</i>	1
Grimmiaceae	<i>Grimmia</i>	1
	<i>Ptychomitrium</i>	1
	* <i>Racomitrium</i>	1
Erpodiaceae	<i>Glyphomitrium</i>	1
	* <i>Venturiella</i>	1
** Funariaceae	* <i>Funaria</i>	1
	* <i>Physcomitrium</i>	1
** Bryaceae	* <i>Brachymenium</i>	1
	* <i>Bryum</i>	3
	* <i>Pohlia</i>	3
Mniaceae	* <i>Mnium</i>	1
	* <i>Plagiomnium</i>	3
	<i>Rhizomnium</i>	1
	<i>Trachycystis</i>	1
Bartramiaceae	<i>Philonotis</i>	3
Orthotrichaceae	<i>Orthotrichum</i>	1
	<i>Ulota</i>	1
Hedwigiaceae	<i>Hedwigia</i>	1

科名	属名	種数
** Cryphaeaceae	* <i>Forsstroemia</i>	1
Neckeraceae	<i>Neckera</i>	1
	<i>Neckeropsis</i>	1
** Thamnobryaceae	<i>Thamnobryum</i>	2
Lembophyllaceae	* <i>Dolichomitriopsis</i>	1
	<i>Isothecium</i>	1
Hookeriaceae	<i>Hookeria</i>	1
Theliaceae	<i>Fauriella</i>	1
Fabroniaceae	<i>Schwetschkeopsis</i>	1
Thuidiaceae	<i>Anomodon</i>	2
	<i>Boulaya</i>	1
	<i>Claopodium</i>	1
	<i>Haplocladium</i>	2
	<i>Haplohymenium</i>	1
	* <i>Herpetineuron</i>	1
	<i>Thuidium</i>	2
Brachytheciaceae	<i>Brachythecium</i>	3
	* <i>Bryhnia</i>	1
	* <i>Eurhynchium</i>	1
	* <i>Myuroclada</i>	1
	<i>Rhynchostegium</i>	2
Entodontaceae	<i>Entodon</i>	3
Plagiotheciaceae	<i>Plagiothecium</i>	1
Sematophyllaceae	<i>Brotherella</i>	2
	<i>Pylaisiadelphina</i>	1
	<i>Sematophyllum</i>	1
Hypnaceae	<i>Ctenidium</i>	2
	<i>Herzogiella</i>	1
	<i>Hypnum</i>	4
	* <i>Isopterygium</i>	1
	<i>Pseudotaxiphyllum</i>	1
	<i>Taxiphyllum</i>	1
Hylocomiaceae	<i>Loeskeobryum</i>	1
計	30科	68属
		98種

となっている。

既報の報告書(井木ほか, 1996)により, センターに生育する蘚類は, 主として日本の西南部で, 日当たりの良い比較的乾燥しやすい土上, 腐植上, 岩上に生育している種であることが明らかになった。今回の調査でも新たに見つかった種の多くは, 主に西日本の日当たりのよい, 比較的乾燥しやすい地域に生育するものであった。

センター内に生育するコケは, 人里で比較的普通に見られるものと, 照葉樹林帯の林下に生育するものに生育環境が大別できる。

今回新たにリストに加えられた種についての生育環境を記してみると, 人里で見られる種として, センター棟の周りの地上や石垣, 路側などからは, ナミガタチゴケ, ネジクチゴケ, ハマキゴケ, トジクチゴケ, ナガハコゴケ, ホソコゴケモドキ, エゾスナゴケ, ヒョウタンゴケ, ギンゴケ, ハリガネゴケなどが見られた。このうちギンゴケは石垣やコンクリート側壁上などの人工物にも生育し, 適応範囲の広い種である。既報(井木ほか, 1996)の調査は造成後3年で行なわれており, 10年以上が経過して本種が新たに確認できたことは, 石垣や舗装などが時間の経過と共に落ち着いてきたために生育したと考えられる。コナラなどの樹幹からはヒナノハイゴケの着生が見られた。また休耕田の土上からはヒロクチゴケが見られた。

照葉樹林帯の林下に生育するものとしては地上, 岩上, 腐植土上からイクビゴケ, フデゴケ, オオシッポゴケ, ヘチマゴケ, ツボゴケ, ヤノネゴケ, トガリゴケ, シロハイゴケ, キャラハゴケなどが見られた。林下のやや湿度の高い所を好む岩上, 腐植土上からはネズミノオゴケ, オオトラノオゴケの群落, 半日陰地の谷の岩上や田んぼの石垣からはラセンゴケの群落が見られた。また谷部の

コナラの樹幹には少量ながらスズゴケの着生が見られた。

日当たりの良い水辺の土上にはオオハリガネゴケが, 半日陰地で流れの傍の岩上や土上, 水路の側壁面にはアオハイゴケ, ツルチョウチンゴケ, カマサワゴケなどが見られた。

センター内には常時水の流れる沢はなく, 沢や渓谷などに出現する種は当然少ない結果となった。しかし土壌の薄い乾燥した地域であるにもかかわらず, 多種のコケ植物の生育が見られたことから, センター内の自然は良好に保たれているといえる。

## 引用文献

- 波田善夫・小新真代・福澤好晃・西本 孝, 1994. 岡山県南部の二次林と地形・地質 — 特に土壌と埋木調査について —. 岡山県自然保護センター研究報告(1): 11-28.
- 井木張二・立石幸敏・西村直樹, 1996. 岡山県自然保護センターの蘚類. 岡山県自然保護センター研究報告別巻(1): 163-167.
- 岩月善之助編, 2001. 日本の野生植物コケ. 192 pls. + 355 pp. 平凡社, 東京.
- 環境庁, 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物, 植物II. 8 pls. + 429 pp. 環境庁自然保護局野生生物課.
- 光野千春, 1990. 田尻大池周辺の地質. 岡山県佐伯町田尻大池周辺の自然, 89-92. 岡山県.
- 岡山県生活環境部自然環境課, 2003. 岡山県版レッドデータブック. 12 pls. + 465 pp. 岡山県.
- 岡山県自然保護センター, 1994. 岡山県自然保護センターの気象観測資料 [1991年12月~1992年12月]. 岡山県自然保護センター研究報告(1): 53-67.

## 岡山県自然保護センター蘚類目録の追補

本目録の科の配列, 学名, 和名は岩月善之助編 日本の野生植物コケ (2001) にしたがいがい, 種の配列は学名のアルファベット順とした。各種の標本の採集者名は標本番号の前に次の略号で示した; CM: 地職 恵, IC: 井木張二, TY: 立石幸敏。使用した標本は, 岡山県自然保護センターの標本庫に収蔵されている。

## 1. 新たに追加した種のリスト

(\* \*は追加した科, \*は追加した属を示す)

- \* \* Sphagnaceae ミズゴケ科
- \* *Sphagnum palustre* L. オオミズゴケ CM-2785
- \* \* Buxbaumiaceae キセルゴケ科
- \* *Diphyscium fulvifolium* Mitt. イクビゴケ CM-2686, 2733, 2809 (写真1)

## Polytrichaceae スギゴケ科

- \* *Atrichum undulatum* (Hedw.) P. Beauv. ナミガタチゴケ CM-2610, 2805, 3516 (写真2)

## Fissidentaceae ホウオウゴケ科

- Fissidens adelphinus* Besch. コホウオウゴケ CM-2593b, 2777
- F. geminiflorus* Dozy & Molk. ナガサキホウオウゴケ CM-2768

## Dicranaceae シツボゴケ科

- \* *Campylopus umbellatus* (Arn.) Paris フデゴケ CM-2831
- Dicranum nipponense* Besch. オオシツボゴケ CM-2743

## Pottiaceae センボンゴケ科

- \* *Barbula unguiculata* Hedw. ネジクチゴケ CM-3518 b
- \* *Hyophila propagulifera* Broth. ハマキゴケ CM-2569
- Weissia exserta* (Broth.) P. C. Chen トジクチゴケ CM-2701, 2703, 3329, 3460, 3515 (写真3)
- W. longidens* Card. ナガハコゴケ CM-3514, 3518 a
- \* *Weisiopsis anomala* (Broth. & Paris) Broth. ホソコゴケモドキ CM-3583

## Grimmiaceae ギボウシゴケ科

- \* *Racomitrium japonicum* (Dozy & Molk.) Dozy & Molk. エゾスナゴケ CM-2567, 2700, 2732, 3448 (写真4)

## Erpodiaceae ヒナノハイゴケ科

- \* *Venturiella sinensis* (Vent.) Müll. Hal. ヒナノハイゴケ CM-2828

## \* \* Funariaceae ヒョウタンゴケ科

- \* *Funaria hygrometrica* Hedw. ヒョウタンゴケ CM-2572, 2588, 2591, 2690, 2763 (写真5)
- \* *Physcomitrium eurystomum* Sendth. ヒロクチゴケ CM-2804, 3512 (写真6)

## \* \* Bryaceae ハリガネゴケ科

- \* *Brachymenium exile* (Dozy & Molk.) Bosch & Sande Lac. ホソウリゴケ CM-2571, 2762, 3513
- \* *Bryum argenteum* Hedw. ギンゴケ CM-2568 b, 2580, 2581 (写真7)
- B. capillare* Hedw. ハリガネゴケ CM-2575, 3538, 3539 (写真8)
- B. pseudotriquetrum* (Hedw.) Gaertn. オオハリガネゴケ CM-3066, 3523
- \* *Pohlia flexuosa* Hook. ケヘチマゴケ CM-3113, 3323
- P. nutans* (Hedw.) Lindb. ヘチマゴケ CM-3061
- P. prolifera* (Kindb.) Lindb. & Arn. ホソエヘチマゴケ CM-3604

## Mniaceae チョウチンゴケ科

- \* *Mnium lycopodioides* (Hook.) Schwägr. ナメリチョウチンゴケ CM-2798, 2800
- \* *Plagiomnium acutum* (Lindb.) T. J. Kop. コツボゴケ CM-2772, 2797
- P. cuspidatum* (Hedw.) T. J. Kop. ツボゴケ CM-2776, 2778, 3519

*P. maximoviczii* (Lindb.) T. J. Kop. ツルチョ  
ウチンゴケ CM-2760, 2771, 2779, 2796, 2799

#### Bartramiaceae タマゴケ科

*Philonotis falcata* (Hook.) Mitt. カマサワゴケ  
CM-3328, 3330, 3476

#### \* \* Cryphaeaceae イトヒバゴケ科

\* *Forsstroemia trichomitria* (Hedw.) Lindb.  
スズゴケ CM-3589

#### \* \* Thamnobryaceae オオトラノオゴケ科

*Thamnobryum subseriatum* (Mitt. ex Sande  
Lac.) B. C. Tan オオトラノオゴケ CM-  
2607, 2710, 2836, TY-5899

#### Lembophyllaceae トラノオゴケ科

\* *Dolichomitriopsis diversiformis* (Mitt.) Nog.  
コクサゴケ CM-2603

#### Thuidiaceae シノブゴケ科

\* *Herpetineuron toccocae* (Sull. & Lesq.) Card.  
ラセンゴケ CM-2747 (写真9)

*Thuidium pristocalyx* (Müll. Hal.) A. Jaeger  
アオシノブゴケ CM-2781

#### Brachytheciaceae アオギヌゴケ科

*Brachythecium plumosum* (Hedw.) Schimp. ハ  
ネヒツジゴケ CM-2579

\* *Bryhnia novae-angliae* (Sull. & Lesq.) Grout  
ヤノネゴケ CM-2759

\* *Eurhynchium savatieri* Schimp. ex Besch. ツ  
クシナギゴケ CM-2765

\* *Myuroclada maximowiczii* (Borcz.) Steere &  
W.B. Schofield ネズミノオゴケ CM-3062 b  
(写真10)

*Rhynchostegium riparioides* (Hedw.) Card. ア  
オハイゴケ CM-2601, 2683, 2769, 3475

#### Sematophyllaceae ナガハシゴケ科

*Brotherella fauriei* (Card.) Broth. トガリゴケ  
CM-2807, 2813, 2822

#### Hypnaceae ハイゴケ科

\* *Isopterygium minutirameum* (Müll. Hal.) A.  
Jaeger シロハイゴケ CM-3608

\* *Taxiphyllum taxirameum* (Mitt.) M. Fleisch.  
キャラハゴケ CM-2734, 2773

## 2. 削除した種 (括弧内に再同定の結果を示す)

1) *Schistidium apocarpum* (Hedw.) Bruch &  
Schimp. ギボウシゴケ TY-5881 (→ *Grimmia*  
*pilifera* P. Beauv. ケギボウシゴケ)

2) *Plagiothecium euryphyllum* (Card. &  
Thér.) Z. Iwats. オオサナダゴケモドキ IC-  
2668 (→ *Plagiothecium nemorale* (Mitt.) A.  
Jaeger ミヤマサナダゴケ)

3) *Herzogiella turfacea* (Lindb.) Z. Iwats. ツ  
クモハイゴケ TY-5905 (→ *Herzogiella per-*  
*robusta* (Broth. & Card.) Z. Iwats. ミチノク  
イチイゴケ)

4) *Taxiphyllum subarcuatum* (Broth.) Z.  
Iwats. ユガミタチヒラゴケ TY-5892 (→  
*Pseudotaxiphyllum* sp. アカイチイゴケ属の1  
種)



写真1. *Diphyscium fulvifolium* イクビゴケ。  
林下の半陰地の土上, 岩上, また林縁の崖地に多く見られる。茎はほとんどなく, 麦粒をまいたように見える蒴は特徴的で, 蒴があればよく目に付く。

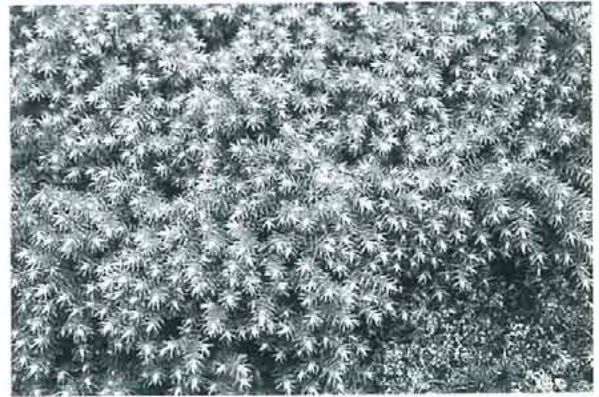


写真4. *Racomitrium japonicum* エゾスナゴケ。  
陽地の地上(特に砂質土), 岩上などに明るい黄緑色でカーペット状に広がる。茎は3cmほどで不規則に短い枝を出す。葉先が透明尖になることが多い。



写真2. *Atrichum undulatum* ナミガタタチゴケ。  
半陰地の土上, 岩上に群生する。茎は長さ4cmほどで, 葉は乾くと強く巻縮する。よく蒴をつける。



写真5. *Fumaria hygrometrica* ヒョウタンゴケ。  
土上, 特に裸地になったところや焼き火跡などによく生える。茎は高さ1cm以下と小さく, ヒョウタン型の蒴をよくつけ, 分布域は広い。



写真3. *Weissia exserta* トジクチゴケ。  
陽地の土上, 石垣などに生育し, ツチノウエノタマゴケと同じ様な場所に見られるが, トジクチゴケは蒴が雌苞葉から出ることで見分ける。



写真6. *Physcomitrium eurystomum* ヒロクチゴケ。  
庭土, 畑土, また鉢木鉢の中などにもよく生える。茎はほとんどなく高さ約3mm。基部がふくれたカップ状の蒴をよくつける。蒴の形が大きく口を広げたように見える。

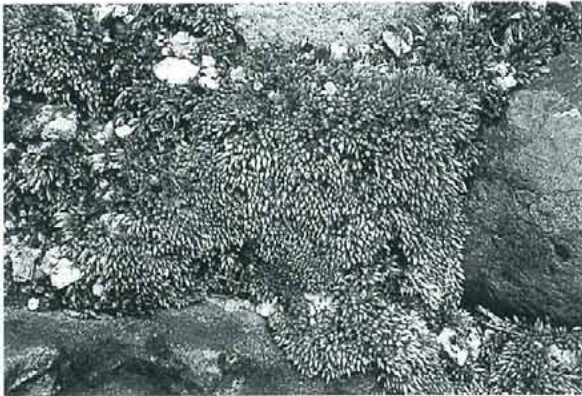


写真7. *Bryum argenteum* ギンゴケ。  
陽地から半陰地の庭土, 畑, 路側, コンクリート, 石垣など生育範囲は広い。茎は高さ1cmほどで, 葉の上部が乾くと銀白色に見える。無性芽をよくつける。



写真9. *Herpetineuron toccoae* ラセンゴケ。  
山地の岩上や樹幹に群生する。茎は1~4cm。葉は乾くと茎に接し, 茎全体が犬の尾のように曲がる。日当たりの良いところでは褐色がかつた色になる。



写真8. *Bryum capillare* ハリガネゴケ。  
岩上, 石垣上などに生え, 茎は2.5cmほど, 葉は乾くと強くねじれ茎に接する。よく蒴をつける。



写真10. *Myuroclada maximowiczii* ネズミノオゴケ。  
山地の岩上, 腐植土上, 木の根元などに群生する。横にはう茎から不規則に枝を出し, 長さ2~4cm。葉は重なり合って密につき, 茎の先で細くなった姿が, ネズミの尾のように見える。